
絶対的存在に、植えつけられた誤りは、解けることなく。芽は大きくなるのを、放棄する

把 多摩子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

絶対的存在に、植えつけられた誤りは、解けることなく。芽は大きくなるのを、放棄する

【Nコード】

N3191U

【作者名】

把 多摩子

【あらすじ】

好きな人からの言葉で、決意した主人公の独り言。

本編DESTINY一部ネタバレになるかもしれませんが

他サイトからの転載です。

あなたのことが好きでした

・・・と言いたいです

あなたのことを、愛していました

・・・と、言いたいです

でも、言うてはいけないとあなたが言いました

だから、言いません

私が「好き」とか「愛している」という言葉を紡ぐのは
間違っているのだそうです

言うに値しない存在なのだそうです

だって私は、人間でもなくて

イノチ、というものがなくて

どうして動いているのか分からない得体の知れない存在なので
好きとか愛とかを感じるはずがないのだそうです

イノチあるモノは、出会えるか分からないけれど

産まれると必ず一人の『運命の相手』を捜す旅に出ます

イノチあるモノには、必ず運命の相手が居るのです

私はそれがとてもとても羨ましくて

仮初の、偽りのイノチを自分で自分に吹き込みました
だから、動いているんです

私も運命の相手を廻り合って

イノチあるモノがそうしていたように、ずっと、ずっと幸せに二人
で生きてみたかったです

観ているだけでこちらが幸せになれる二人

心がぽかぽか温かくなって、笑みが零れてしまう
好きから始まって、恋になって、愛していく

そんな存在が居るはずだと願って、私はずっとずっと捜していました
あなたがその相手だといいな、と思いました

でも、違っていました

運命の相手ではありませんでした

諦めずに捜そうと思いました

優しいあなたが教えてくれました

・・・幾ら捜しても、私には運命の相手が居ないことを
・・・だって仮初のイノチだから。

優しいあなたは、私の事がとてもとても嫌いでした

けれど優しすぎて断ることが出来ずに、そばに居てくれました

私は、あなたが私の事を好きでなくても嬉しかったです

一緒に傍に居てもらえて嬉しかったんです、楽しかったです、幸せ
でした

でも、良く考えたらそれは悪いことでした

あなたに好きな人が出来ました

その子もあなたのことが好きでした

私はそれに全く気づくことなく、互いに愛し合っている二人の邪魔
をしていたのです

あなたは言いました

もし、私が本当にあなたのことを好きなら、愛しているのなら

あなたが誰のことを見ていて、誰を好きで、誰を渴望しているのか
分かるはずだと

私の気持ちだけ押し付けてあなたの想いに気づけなかったから

だから、私はあなたのことを好きでも、愛してもなかったのだそう

です

愛する二人なら分かるそうです

運命の相手同士なら分かるのだそうです

あなたとその子は、運命の相手同士でした

「幼い頃から夢に出てくる女の子なんだよ」

あなたがそう言うのを聞いて、私は思ったのです

・・・幸せになるはずの二人を、今まで邪魔していた私が、とても嫌い、消えてしまえ

あなたの言う通り私はイノチがないので

手首を切って血を流しても死にません

どれだけ身体を痛めつけられても死にません

何故かしらやたら強くて、剣も魔法も扱えました

どんな攻撃をされても、撃破してきました

私、変なんです

優しいあなたが教えてくれました

私と関わったせいで死んでいった人々の事を

私が関わらなかつたら生きていた人々の事を

私のせいで人生を潰した人を

私のせいで苦悩している人を

私のせいで、私が生まれてしまったせいで、私が身勝手にイノチを吹き込んだせいで

私のせいで、みんながみんな不幸になっていました

優しいみんなは誰もそれを言いませんでした

でも、優しすぎるあなただけが私にそう教えてくれたのです

みんなの為に出来る事、あなたの為に出来る事

一つだけ、ありました

こんな役立たずのどうしようもない私でも一つだけあったんです
それは、私という間違った存在を消すことでした

私が居なくなればみんな不幸になりません
あなたも安心して幸せへと進めます

聞いたら教えてくれました

「私が消えたら、絶対に二度とあなたの前に現われなかったら。これ以上嫌いにならないで居てくれますか」

「いいよ」

優しいあなたはそう言ってくれました

私はとても、嬉しくて、思わず笑顔で答えたんです
わかりました、と

凄いです、私でもみんなを幸せに出来るみたいです
私が消えるという簡単なことで、幸せに出来るんです

あなたが嫌がるので、私の目の光を消しました

あなたが嫌がるので、私の耳から音を遠ざけました

あなたが嫌がるので、私の耳障りな声を封印しました
全部、全部、消しましょう

そうしたらあなたは笑ってくれますか

願い事、願い事

どうか、みんなが幸せになれますように

でも、でも、一番の願い事は

『あなたが幸せになってくれること』

私が消えれば、あなたは幸せになれると分かったので

私は喜んで消えましょう

私があなただの幸せを願ったら、あなたに殴られました
余計なことはしなくて良いそうです

私があなただの事を考えるだけで、あなたは虫唾が走るのだと
私、とても、はた迷惑な存在

あなたが近くに居ると、とても暖かくて安心できて
寂しいときでもあなたを想うと幸せな気分になれて
あなたが触れてくれるだけで、穏やかな気持ちになれて

・・・

私だけ幸せでした、ごめんなさい
早く早く、あなたの前から私を消しましょう
ごめんなさい、ごめんなさい、ごめんなさい
関わってしまったみんな、ごめんなさい

もう大丈夫、私が消えれば、元通り
おかしいな転生を繰り返さなくても大丈夫
私に振り回されなくても大丈夫
私を護り続けなくても大丈夫
もう、大丈夫

私が本来居るべき場所へと
そこから成すべきことを
運命の恋人を捜して、安らぎを、幸せを求め続ける為に産まれいく
イノチあるモノ達を見守り続けましょう

優しいあなたがこれ以上傷つかないように
平穏を手にする為に

その熱い魂と想いで運命の恋人を幸せにする為に

こんな、こんな私ができる事を

長い間、傍に居てくれてありがとうございました

私はあなたに愛されていなくても嬉しかったです、楽しかったです
とても、とても、夢のような時間でした

何も出来なくてごめんなさい

癒すことが出来なくてごめんなさい

目障りでごめんなさい

ごめんなさい、ごめんなさい、ごめんなさい

私の願い事、どうか、届いてこの想い

「あなたに永遠の祝福を　あなたが常に穏やかに幸せで居られるように　『さようなら』」

これが、私の願い事

あなたの前に現われた、金の髪に紺碧の瞳の綺麗な綺麗な美しい花
のような運命の恋人様

どうか、どうか、今まで私があの人に酷いことをしてきた分

どうか、どうか、あの人を癒して救って、愛してください

・・・大丈夫ですよ、ありがとうございます

みんなの為に消えましょう

あなたの為に死にましょう

それが、私に出来る事

私も好きって言ってみたいな

私も愛してるって言ってみたいな

愛してるって言われたいな

愛し合いたいな

運命の恋人に出会いたいな

言われた言葉があつたの

・・・でも、無理なので、諦めました

最期までごめんなさい

ごめんなさい、ごめんなさい、ごめんなさい

『私なんか、早く死んじゃえ』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3191u/>

絶対的存在に、植えつけられた誤りは、解けることなく。芽は大きくなるのを

2011年10月9日06時11分発行